

豊平酪農振興会 1/20 広酪西部事業所

# 仲間意識を大切に頑張ろう



豊平酪農振興会(泉繁樹会長) は、研修会並 びに新年互礼会を開催し、会員ら17名が参 加した。

泉会長は挨拶で「一年を振り返り、国内で は東日本大震災が発生し大きな混乱が生じ た。当振興会では廃業者も無く、無事、過ご すことが出来、幸いに思う。今年も一年、良 い年であるよう願いたい。特に仲間意識を大 切に頑張ろう」と述べられた。

近の酪農情勢」について報告を受け、その後、 懇親会を開催し和やかに終了した。

西部地域

場の竹板さんは「以前は北海道から専門技 勾配に関する改善がされていない組合員 質向上を図るため、 頼もしさを感じる」と期待感を募らせてお もあったが、パルセーター等は改善され 課)が西部管内のミルカー点検を行った。 広酪は、搾乳施設機器の点検を行い、 北広島町の(有)芸北ルーラル 上富士主任(事業推進 広酪の職員が点検



ミルカー 西部事業所管内の

わきあいあい会

1/20 広酪西部事業所

# 「西部楽酪会」に改名 若き酪農後継者らの語らいの場へ

昨年末、西部地域の後継者や酪農関係者らで立ち上げた「わきあいあい会」(井上正芳代表)は研修会を 開催し、仮称であった会の名称を「西部楽酪会」と改名し、若い酪農後継者が今後を見据えて自由な意見 が出し合えるよう今後の取り組みなど協議した。

びに新年互礼会を開催し、

十一名が参加した。

# 西部地域組合員連絡協議会

う三年間は前年度生産実績以上を目標に定める方針が示さ

**画生産が求められる」と情勢報告を受けた。** 

では生産量の維持・拡大を図る方針であり、 の報告を受け「TPPの懸念はあるものの、 会議が示す平成二十四年度の生乳生産対策の基本的な考え

生乳生産関連

中酪では向こ

続いて、鍵山信儀常務(中国生乳販連)から(社)中央酪農

後も会員の団結が必要である」と挨拶した。

PP参加協議のテーブルに着くなど大変な年であった。

バル化が進む年のように思える。

久保田副会長は「昨年を振り返ると東日本大震災・

1/10 広島

生乳生産に 明るい兆しを感じる



甲奴郡酪農組合

並びに副賞を手渡し、

間通して五回以内の人、

1/25 東部事業所

ルテ

イは目標

組合員



平成二十三年度通常総会 やTPP情勢、生乳生産基盤の維持と状総会にあたり祝辞と共に最近の酪農情勢 況等の報告を伝えた。 新役員が勢揃いし、今年度の事業計画に された。今年度は役員改選期にあたり、 で有効成立し、提出議案は全て可決承認 総会は、出席者数十六名、 甲奴郡酪農組合(伊達薫組合長, 続いて、来賓の隅屋寒三専務(広酪)は、 伊達組合長は 平成二十三年度通常総会を 「厳しい情勢で 委任状四名 しょう」と挨

て乳質向上に全員で努力し、 ティ目標五回以内」を掲げ、 今年度のスローガンは、 広酪と同調 「乳質ペナ

それぞれ

半減した人を乳質改善賞として二十四年度に表彰することを決めた。 くは前年度のペナルティ回数の二分の一 細胞数・生菌数の全てのペナルテ

等も交えて和やかな年初めの会となった。 総会終了後の年始会では、農家の家族も出席し、 一年間の努力に敬意を表した。 山陽乳業㈱、 N O S A I

また、二十三年度の乳質表彰はペナルティの回数が四回までの七名に賞状

1/11 ~ 16

研修会では、隅屋寒三専務(広酪)から「最



以前、

酪農廃業を考えたが、

途に酪農で頑張る

新年意見交換会!!

あと十五年

1十五歳まで酪農の現役を続ける

1/30 鮎の里公園・高瀬の湯

# 三原市酪農振興会

1/31 三原市役所

市内

三原市に酪農窮状支援を要望





耕畜連携による体制確立の措置など継続実行を 使った牛乳の地産地消活動を通じた食育支援、 農家でアカバネ病が一頭も発生しなかったこと 種や畜舎消毒の助成措置が功を奏し、 提出した。 の酪農経営の安定と継続を図るための要望書を 右の右側) と白須均市議会議長(写真左の右側) 樽好美子東部事業所長が、五藤康之市長(写真 要望した。 の受皿支援や各種酪農関連施策、 ルパー助成や振興活動の促進助成、 を報告し、感謝と共に継続支援をお願いした。 また、 同市管内では、市が行う三種混合ワクチン接 酪農家減少の歯止め策として、 これまでの補助施策への御礼と今後 玉川功士副会長、 槙元昌富役員、 県内産生乳を 新規就農者 市内の酪 酪農へ

あきたかた酪農振興会

触れられ、

その場で農林水産課の担当者に予算

今後に期待出来る要望活動が

TPP交渉への参加反対にも

や関心を示され、

市長並びに議長ともに農業・産業への重要さ

措置を指示され、

1/27 たかみや湯の森

「病発生ゼロ」に御礼

三原市酪農振興会(新舎和久会長) は、新舎会

# 高宮MB倉庫にセルカウンター設置を望む!!

あきたかた酪農振興会(槙野大樹会長)は新年互礼会を、会員、 その家族、市議会議員ら25名参加のもと盛大に開催した。

意見交換会では、会員同士や関係機関との情報交換、市議会 への要望事項など市議会議員に強く求める場面もあり、 な中にも緊張感の漂うものであった。また、会員の一人は「ずっ と前から思っていた事が言えてスッキリした。これからもこの ような場をどんどん作ってほしい」として、その後、親睦を深め、 今年一年頑張る意味も含めて大変元気の出る会となった。

最後に、槇野会長は「今年も先行きが見通せない状況の中で、



昨年から再認識された『絆』を力に一致団結して頑張って行きましょう」と締めくくられた。

# 口和町酪農組合



続する」との決意表明もあって、

参加者は暖

で頑張る努力をする」、「還暦を迎えてもな

お、あと十五年は現状規模で酪農経営を継

を含む後継牛対策、 特に関心が高かったのは、 らの伝達事項を含めた話題提供が行われた。 近の酪農情勢を説明し、その後、 に関心が寄せられた。 の動向や庄原市の「死亡牛の埋却手続き」等 画に掲げる事項で、その他、乳質ペナルティ MRセンター の統合や初生雌子牛の斡旋 後継者対策等の中期計 組合が取り組む 「平成二十年 各団体か

肥センター、

広酪等の六団体十名が出席し、 庄原家畜診療所、

新年 
意見交換会と懇親会を行なった。

意見交換会では、

西中晃参事(広酪) が最

当時、

酪農の廃業を考えネガティブな心境

参加した組合員の中からは、

になったが、

今はその考えは捨てた。酪農

農林振興課畜産振興係、

同市口和支所、

OSAI北部、

町内酪農家の家族九名に加えて、

庄原市

口和町酪農組合(石富貞美組合長)は、

を願って閉会した。 とを確認し、 うした意見交換の場を今後も続けて行くこ 係機関の相互理解と連携強化を目的に、 様々な意見が寄せられる中、 い拍手を贈った。 一年が良い年であること 組合員と関 ح

広酪西部ミルク会

1/26 北広島町

博子会長) は研 修会を開催し、 ク会(東方田 広酪西部ミ

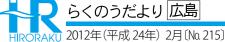
たことに感謝 方田会長は、 が参加した。東 会員ら十四名 い中、参加頂い 寒

度は良い年であるよう願いたい」と挨拶し し「昨年は暗いニュースが多かった。今年

項等を聞いた。 会を西部事業所で開催。これに併せて三月 の酪農情勢を説明し、 終了後は、隅屋寒三専務(広酪) から最近 旬に役員会を開催することとした。 今後の活動には、 レンジメント、 四月三日には総会・講演 二月十五日にフラワ 広酪に対する要望事



フラワ 今年も活発な アレ ンジメント等



# 2/3 東部事業所

# ひな祭りを前にお雛様で

飾り付け、 いり様」と「お雛様」に着物を着せ、頭プを貼って、色を組み合わせて「おだを使って、荷作りバンドに両面テー タンを敷いて桃の花をア た会員十一名は、 は綿棒を使い トボトル したお雛様作りに挑戦した。参加しは新年会を兼ねて、ひな祭りを前に のキャップや布の切れ端等 それぞれ個性豊かな「お ケースに赤いジュー 要らなくなったペッ レンジして

その後は年始会へと移り、池田部長は「今年も元気で仲良く頑張りましょう。また役員改選もありますので宜しくお願いします」と挨拶。目の前に並んだ手作りの差し入れ等を頂きながら話が弾んだ。樽好美子東部事業所長からは、最近の酪農情勢や理事会決定事項、ひろらく女性グループ連絡協議会の県内酪農女性の交流会への参加呼びかけを行い、甲奴郡会への参加呼びかけを行い、甲奴郡

人部(池田月美部長) 聞け、今年の良いスタートをきれた関わらず参加して良かったとの声をの冷え込みであったが、寒い日にも当日は節分でもあり、この冬一番 酪農組合の総会報告も行った。

甲奴郡酪農婦

# 2/24 東部事業所

満足された様子であった。 映えとセンスを互いに褒め

た

た え、

# 笑顔と若さで活力を 総会開催

# 副部長は河上ひろみさんを再任 新部長に山本礼子さん



けて年始会を開催。 屋」で元会員の参加を呼びか 子部長) は、地元の「峠の茶 神石酪農女性部(入江さよ

挨拶。 会の参加を募った。 の県内酪農女性の定期交流 性グループ連絡協議会主催 行われ、三月のひろらく女 河上副部長から会計報告が みさんの再任を決定した。 副部長兼会計には河上ひろ 長に山本礼子さんを選任、 を引っ張って欲しいです」と 齢化してきましたので、 い方に役員をして頂き、我々 入江部長は「この会も高 役員改選では、 新部 若

ろう」と約束し帰路についた。 昼食会では久々の顔合わせで、 また、樽好美子東部事業 「みんなでもう少し頑張

# 神石地域酪農女性部

積もりに積もった話で盛り上がり、 所長から酪農情勢を説明し、



甲奴郡酪農婦人部

なったものを再利用して、で作ったお雛様を並べて、

雛様セット」を作成した。

参加者全員

「要らなく こんなに

可愛いお雛様ができるなんて」と出来

# が多い印象があります。

JA西日本くみあい飼料株式会社広島営業所 獣医師 中尾 継幸(なかお つぐゆき)氏

四十五日以内に発症 癒すると言われますが、 の七十一%が分娩後 約六十%は自然治 卵胞嚢腫ではそ

「ラクダは楽だ?

長の原因となるのです。 娩から初回排卵までの日数を平均で 場合でも初回排卵前の卵胞嚢腫は、 十八日延長させ、

の観察例では、 以前に道農試で調査された卵胞嚢腫 分娩後十四日に認めら

も『卵胞嚢腫』と診断され、授精できな は出るが繁殖が振るわず、 い場合が多い」といった話を聞くこと 最近、酪農家さんとの会話で「乳量 発情が来て

れた発育卵胞が、排卵せず急激に大き

個以上の直径二・五㎝以上の大きな卵 胞が十日以上存続する 卵胞嚢腫は 「卵巣に黄体が無く、

エネルギーバランス状乳量増加に伴い、負の 乳量増加に伴い、 泌乳牛では分娩後の泌 巣疾患の一種です。高 状態」と定義された卵 因になると考えられま 卵胞嚢腫発症などの原 が分娩後の卵巣静止や 態に陥り易く、 この事

卵胞嚢腫について改めて考える」

低受胎と分娩間隔延 自然治癒した 分 増加し、そ の抑制がカギとなります。それには分の増給と共に、それに伴う食滞発生

四十 により妊娠に至りま 存続しましたが、そ まで二十五 卵胞嚢腫は七十二日 ました。一方、元の 常な性周期が回帰し な初回発情が認めら は分娩後二十日 九十九日の人工授精 の後は縮小に転じま した。そして分娩後 した。この牛の乳量 初回排卵後は正

一川以上で

kg以上に急激に

その後はこの水準を維持して

娩後の粗飼料の採食量維持と濃厚飼料 ネルギー要求水準に近づけるには、 分娩後の急激な乳量増加に対するエ

> 分で、 策は分娩後の牛に対してのみでは不充 約六十日を要しました。 効性は期待できないのです。 う早期に施しても嚢腫治癒にはその後 牛では栄養改善を分娩後二十三日とい 対策は乾乳期に起因するのです。 期から分娩への飼養管理が重要です 整えておく必要があり、遡るに乾乳後 娩前から第一胃の容量と機能を確実に してからの栄養改善や薬剤治療では即 よって卵胞嚢腫の発生原因とその根本 特に初回発情時等に嚢腫と判明 つまり嚢腫対 先の

の後八十五%以上の充足率とする・娩後二十三日に飼料の改善を行い、

十五%以上の充足率とすると、

-七日に新たな卵胞発育と共に明瞭

ルギー

充足率は六十三%でしたが、

■の嚢腫となりました。この間のエネ くなり、二十四日に最大直径四十五

理を持つ動物であったなら、 限りは排卵せず、 次々と卵胞を成熟させ、 かに簡単なものとなっていたかもし 受精するよう万全の体制で待機してい 例えばラクダは牛と同じ偶蹄類です を形成する必要性は全くありません。 来は非妊娠の雌には、意味の無い黄体 かし種の保存の意義から考えると、 の悩みもほとんど無く、 り排卵と黄体形成を繰り返します。 余談ですが、 卵胞成熟はするものの交尾しない もし牛もラクダのような繁殖生 牛は正常な状態では 交尾した時に確実に 妊娠しない限 本

間で